

<報道発表資料>  
(府同時)

令和7年9月4日  
きょうと生物多様性センター運営協議会  
京都市環境政策局環境企画部環境保全創造課

## 草木染から学ぶ生物多様性 「植物の生命（いのち）と色」の開催及び参加者募集

きょうと生物多様性センターでは、京都ならではの文化と自然のつながりから生物多様性を学ぶセミナーやワークショップを開催しています。

この度、紫野今宮神社において伝統的な草木染の体験等を通じて生物多様性を学ぶプログラムを開催するにあたり参加者を募集します。

### 【開催概要】

- 日 時：令和7年10月26日（日） 11:00～15:00
- 会 場：紫野今宮神社（京都市北区紫野今宮町21）
- 内 容：以下のとおり実施

#### （1）染めのワークショップ「紫（ムラサキ）」を染める」

時 間：11:00～12:30

講 師：ATELIER SHIMURA 代表 志村 昌司 氏

定員等：中学生以上16名（応募多数の場合は抽選）

参加費：3,000円

#### （2）鼎談「染めの手仕事と今宮神社の歴史から生物多様性を考える」

時 間：13:30～14:30

登壇者：ATELIER SHIMURA 代表 志村 昌司 氏

今宮神社 宮司 佐々木 従久 氏

株式会社ミシマ社 代表 三島 邦弘 氏

定 員：40名（応募多数の場合は抽選、当日空きがあれば先着受付）

#### （3）対談「ムラサキ再生プロジェクトの紹介と植物「ムラサキ」のお話」

時 間：14:30～15:00 ※(2)鼎談に引き続き実施します

登壇者：武田薬品工業株式会社京都薬用植物園 太田 己翔 氏

ムラサキノハレ副理事長 平元 俊一 氏

● 申込み

令和7年9月5日～10月9日、いずれも申込フォームから申込み

( [https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeZaJQaommx4zQI9EfPMhtgVdkZD3QH\\_sTwygj537R8EG5wxw/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeZaJQaommx4zQI9EfPMhtgVdkZD3QH_sTwygj537R8EG5wxw/viewform) )

● 運営

主催：きょうと生物多様性センター

共催：京都府、京都市

● 協賛

一般財団法人三洋化成社会貢献財団

(参考：ATELIER SHIMURA)

染織家・志村ふくみ氏、志村洋子氏の芸術精神を継承し、次世代へと繋ぐ染織ブランド。ブランドコンセプトである「自然と芸術の中へ」のもと、京都・嵯峨野にある工房で、美しい自然に囲まれながら、四季折々の草木染めと手機で着物や帯、小物などを制作。

(参考：株式会社ミシマ社)

「ちいさな創業出版社」。2006年10月、三島氏が東京・自由が丘で単身創業。2011年に地元・京都にもオフィスを立ち上げ、以来、2拠点体制で「一冊入魂」の出版活動を続けている。

『新・仕事のお守り』（ミシマ社編著）から、本上まなみ『みんな大きくなったよ』など、京都在住の著者の本も多い。

(参考：武田薬品工業株式会社京都薬用植物園)

京都市左京区にある薬用植物園。90年以上の歴史を持ち世界中の植物遺伝資源を保全・利活用しながら、「守る」「つなぐ」「伝える」の3つの活動を通じて自然環境と人々に貢献。定期的に見学研修会を実施（要予約）。

(参考：ムラサキノハレ)

紫野や西陣のお店が並ぶ地域住民参加型の市「ハレトケ市」を主催する地域団体。紫野今宮神社様の氏子が中心となり、地域のつながり、神社のつながりを取り戻すために活動される。ハレトケ市は、今回で8回目。

<きょうと生物多様性センターの概要>

生物多様性に関する情報を正確かつ継続的に把握し、収集された知見を基に、生物多様性に係る理解促進や担い手育成、地域や企業の保全活動の支援等を行うとともに、保全に係る様々な主体の連携・協力関係を構築することを目的として、京都市と京都府との協働で設置し、運営しています。

< 30 by 30 目標達成に向けた取組について >

世界では依然として生物多様性の損失が続き、早期にそれを食い止め、むしろ増大させなければ、取り返しのつかない事態になることが危惧されています。こうした中、30 by 30 等の達成に向けた機運の醸成と具体的な取組の促進を図るため、有志の企業・自治体・団体による「生物多様性のための30 by 30 アライアンス」が発足。本市は令和5年7月に参加し、30 by 30 目標の達成に向けて取組んでいます。



京都市は30by30目標の達成に向けて取り組んでいます

< お問合せ先 >

本事業に関するお問合せ先

きょうと生物多様性センター

Eメール：[contact@kyotobdc.jp](mailto:contact@kyotobdc.jp)

電話：075-744-1107

075-354-5275

報道機関からのお問合せ先

京都市環境政策局環境企画部環境保全創造課

電話：075-222-3951